

第81回 俳句を楽しむ会 「かわせみ会」 会報

- 1 開催日 2025年 3月24日 13:00～ 第4木曜日
大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ
- 2 参加人数 ・男性7名・女性2名・投句1名 計 10名
- 3 今回の季語 三月(弥生)の季語全般 (季語重なりがないこと!)
- 4 選句の結果 *写真をみて一句! を試行してみる。



”小野小町生涯図”《随心院》



小野小町歌碑
花の色は
うつりにけりな
いたすらに
わが身世にふる
ながめせしまに

《百人一首のひとつ》

”はねず梅(白・紅)”

*写真で一句!
兼題: 雪



- ・薄日差す水面の下に春ひそむ
- *手のひらですぐにとけゆく名残雪
- ・畦道につくし背比べ春の風
- ・音澄んで底の見える春の川
- ・桜観ず突如去り逝く友悲し
- *大屋根の眩し日裏に雪残る
- ・梅古木開花で示す自己主張
- ・朝な道春告げる鳥に歩を緩め
- ・流るるも止まり行きつつ梅筏
- ・彼岸入る誰に託せば墓守を
- ・芽柳を風のくすぐる川辺かな
- ・紅梅の紅さ負けぬ孫のほほ
- ・古寺参り小町偲んではねず梅
- *雪解けの焼け山肌や新芽待つ
- *春雪をかぶりて来たる送迎車
- *ひもすがら炬燵に夫婦雪降る日

5 講評・添削 披講担当: 園田 さん
1) 語彙・表現良い句、見直すことでより良い表現へ

- ・桜見ず突如去り逝く友悲し
↳ 観ず
- ・手のひらですぐにとけ出す名残雪
↳ ゆく

2) 季語無・当該季外れ?!・季語重なり! + 季語色々!

- ・早春の冷たき雨に背を丸め
- ・畦道につくし背比べ春の風
- ・長靴を取れてしまう深雪ばれ
- ・ひもすがら炬燵に夫婦雪降る日
- *一句一季語* にて詠むこと!
- ・朝な道春告げる鳥に歩を緩め
〈鶯を意味する表現〉

* 比喩上手! ・音澄んで底の見える春の川

〈早春の訪れを表す比喩〉

3) 五・七・五の字数 ⇒ 上五に(固有)名詞を用いる場合は5文字を以上でも可。当会では”7文字”までとする。

- ・白玉椿願いは蕾邪気払う
〈シロタマツバキ=7文字〉

6 次回(#81)開催日 2025年 4月24日 13:00～(15:00) 第4木曜日

兼題: 四月(卯月)の季語全般

写真で一句 : 鳥

歳時記を参考に!

大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ



選外句

- ・早春の冷たき雨に背を丸め
- ・コロナにて集い卒業待つ新た
- ・友が逝く離れる舟に春愁い
- ・しぶき上げ春を謳歌の堰の水
- ・春休み孫の笑顔に安堵する
- ・白玉椿願いは蕾邪気払う
- ・梅林の投句短冊花が咲き
- ・長靴を取れてしまう深雪(ミユ)ばれ
- ・春雨に石段滑り参拝に
- * 奥能登は地震・ドカ雪吾は無力
- * 雪はげし眺め上下椿かな
- * 深々と積る淡雪音消して
- * 熊笹の雪解けはねて空に立つ
- * 雪景色捉えた画像モノクロか